

わたしたちは、医の倫理と人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの健康に奉仕いたします。

HAT CROSS

神戸赤十字病院広報誌
2006 vol.12

ボランティアグループ活動開始！



屋上庭園を手入れ中の園芸ボランティア

このたび、院内ボランティア活動への認識を深め、相互に助け合うという意識をもつて、地域の方々とともにボランティア活動を積極的に進め、地域に開かれた信頼される病院として、又赤十字諸活動の推進を期するため、地域の方々を中心としたボランティアの募集を行いました。

主な活動内容は、外来受診時のご案内や車椅子の介助（受付ボランティア）や、庭園や花壇、植木花鉢の手入れ（園芸ボランティア）ということでスタートしました。



再来受付機の説明をする受付ボランティア

また従前より活動していただいておりました入院患者さまのヘアカットサービス（カットボランティア）、デイルームの図書の整理（図書ボランティア）と併せて、4つのグループが活動中です。

10月17日には、オリエンテーシ

ョンを兼ねて研修会を開催し、赤十字をより理解していただくためにビデオでの赤十字活動の紹介、病院の概要や活動内容の説明の他、実際に活動場所での確認などを行いました。

その後、何回かの実践活動の研

修を経て、11月から活動開始となりました。

活動中は、赤十字マークのボランティアバッジと名札をつけて、また受付の案内ボランティアはエプロンを着用して活動しておりますので、どうぞお気軽にお声をかけて下さい。

各ボランティアの皆様のあたたかいお気持ちと美しい草花や庭園を通じて患者さまの心を癒していました。

なお、ただいま病院ボランティアのメンバーを募集しております。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

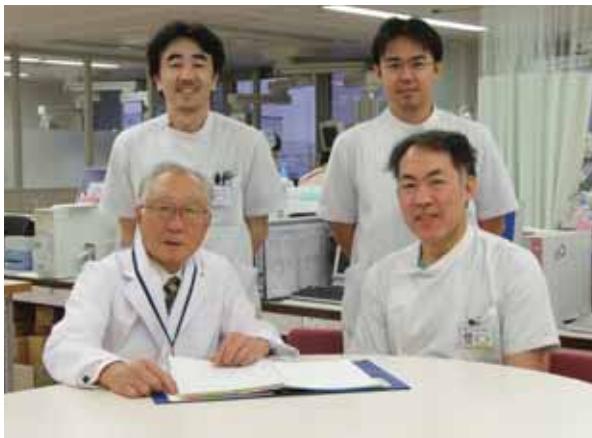


『ネバー、ギブアップ!』

24時間いつでも最良の
心臓血管外科手術を提供しています。

心臓血管外科 部長 築部 卓郎

心臓血管外科



後列左より) 川平副部長、林副部長
前列左より) 小川顧問、築部部長

心臓血管外科は開院後3年3ヶ月で、心臓大血管疾患の手術数は400例を越え、市内では神戸市立中央市民病院、神戸大学病院につぐ手術数に達しています。病院の規模等を考えると、ここまで実績は心臓血管外科チームのスタッフが患者さまの救命のために昼夜を問わず一丸となつて努力した賜物であると感謝し、さらには神戸市を含めた県南部の心臓血管外科の中核施設の一つとしての使命を担う責任を感じているところであります。

当科の特徴は、

- ① **緊急手術が多い**：当院と兵庫県災害医療センターの循環器科・放射線科・麻酔科および救急医が一体となり、24時間対応し、緊急手術が全体の48%と多いです。
- ② **紹介患者さまが多い**：他病院からが48%、救急隊が直接搬入30%、院内他科からが22%であり、紹介患者さまが約半数を占めています。
- ③ **冠動脈血行再建術が最も多い**：冠動脈血行再建術（冠動脈バイパス手術）は約50%で人工心肺を用いない方法で行つており、特に高齢者では第1選択と考えています。
- ④ **心臓弁に対する手術**：特に僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術と大動脈狭窄症に対する弁置換術を多く行っています。心臓の弁に対する手術では人工弁置換術や自己弁を温存する術式を行っています。
- ⑤ **大動脈瘤や大動脈解離に対する手術が多い**：大動脈瘤や大動脈解離に対する手術は弁置換術や冠動脈バイパス手術に比べて難易度の高い手術ですが、当院では弓部大動脈瘤や急性大動脈解離などの大動脈の手術を数多く行っています。急性大動脈解離の治療総数は120例（内60例が緊急手術）で、全国的にも症

例数が多く、また手術成績（術後30日以内の死亡）は全国平均14.5%に対し当科では6.7%と良好です。さらに意識障害を合併した症例では他施設では手術が見送られることが多いですが、病気になつてから手術を開始するまでの時間短縮により、当院では積極的に手術を行っております。その結果、手術を施行した8例全例とも救命し、意識障害も消失改善し、全国的にみてトップの手術成績を誇っています。

⑥ **80歳以上の高齢者の手術が多い**：80歳台の高齢者手術が全体の29%、90歳以上の患者さまの手術は全体の2%を占めています。最高齢は94歳の女性で胸部大動脈瘤破裂に対し人工心肺を用いた手術を緊急で行い、さらに後日、腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術を行いました。現在もお元気で外来通院されています。一般に80歳以上の高齢の場合、心臓や大動脈に病気があり手術が必要な状態であるのに、高齢であるとの理由で手術がなされない方が多くおられます。このような方が、いよいよになつて救車で搬送され、緊急手術を行うこととなります。当科では、高齢者でも心臓手術は安全に行えますので、年齢を手術しない理由にはしておりません。

その他、大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術を放射線科と共同で行っています。また、足の動脈がつまる閉塞性動脈硬化症や、下肢の静脈瘤に対する治療も行っています。さらに、透析の際に必要な動静脉シャントの形成術なども積極的にお受けしています。1年を通して24時間いつでも対応しており、今後とも患者さまのために頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



よもやまばなし お薬四方山話

『インフルエンザの予防と治療薬』

薬剤部 山岸 雄幸



インフルエンザの予防には3つの柱があります。①うがい・手洗い・マスクの着用。
②適度な湿度を保つこと。③ワクチン接種です。また、罹患した場合に早期に使用して重症化を防ぐ治療薬があります。今回はインフルエンザワクチンと発病後の治療薬についてお話しします。

インフルエンザワクチンは、万いかつた場合でも重症化を抑えるという効果が期待されます。接種の回数では、幼児から小学生は2回接種で3～4ヶ月の効きめが認められ、中学生以上は、高齢者まで1回接種でも同様の効果が認められます。インフルエンザの流行は1月上旬から3月上旬が中心であること、ワクチン接種による効果が出現するまでに2週間程度を要することから、毎年12月上旬までにワクチン接種を受けることが望ましいとされています。

治療薬としては、A型インフルエンザ治療薬のアマンタジン（シンメトレル）、A型・B型インフルエンザ両型に効果のある、吸入薬のザナミビル（リレンザ）と経口薬のリン酸オセルタミビル（タミフル）があります。いずれの薬も、かかつてから改善するまでの期間を短くしたり、重症化するのを防ぐことが可能ですが、発症後2日以内に服用するのが、最も効果が高いので、インフルエンザにかかつたようなら、早く受診されることをお勧めします。



医療安全への取り組み

医療機関における安全対策は「医療の質」を保証するために重要な意味を持ちます。当院では開院当初から、病院の基本理念・基本方針の下「医療安全管理要綱」を作成し、その目的を達成するために組織を構成し医療の安全を推進しています。

医療安全管理委員会はゼネラルリスクマネージャー（副院長）が召集し、リスクマネージャー部会とともに病院全体の医療安全対策を担い、医療安全の大きな目標である良質な医療の確保に日夜努めています。

医療安全管理チームは、毎週1回インシデントの内容を分析し、現場ラウンドを実践するとともにタイムリーに現場へ出向き内容の確認や提言を行い再発防止に努めています。インシデントは各部署から毎月200件余りの報告があります。インシデントが多いことは、病院組織の透明性、バイブルが詰まっていることの証明で歓迎すべきことですが、この件数が真に減っていくことをが、私たち医療安全推進室の大きな課題です。

当院職員は、患者さまの安全の確保と良質な医療の提供を最大の目標として職務に邁進して参ります。

栄養課 だより



ちらし寿司の作り方

- ①米とともに米を合わせて、かるく洗い、ざるに取り、総重量の1.2倍の水を入れて昆布を上にのせて炊く。
- ②炊き上がった御飯に、寿し酢を振りかけてすばやく切るように混ぜる。
- ③合わせ調味料で炊いた、具を混ぜる（よく水分を切つた）。
- ④人肌になつた寿司飯を盛付で金糸卵、穴子、エビともりつけて、きざみ海苔、生姜をのせて出来あがり。

※寿し酢のコツ

- ①砂糖、塩、酢を軽く火にかけて、塩を溶かす。
- ②ボールにとり出し昆布を浸しラップして三日ほど涼しい所に保管する。
- ③出し昆布から旨味成分がとけて風味が増します。

ちらし寿司

[一人当たりエネルギー492kcal]

- タンパク質19.7g
- 脂質6.4g
- 食塩含有量2.4g

材料(g)

精米80・もち米10・にんじん8
ごぼう8・干しい草2・たけのこ8
金糸玉子15・サラダ油1
きざみのり0.5・しょうが4
グリーンピース5・穀物酢13
砂糖8・塩1.6・エビ30・穴子30
濃口醤油3・みりん3・清酒2



基本方針

1. 患者さまを中心として、人権と意思を尊重し、安心と満足が得られる医療を提供いたします。
2. 地域医療機関との連携を保ち、患者さまに一貫した医療を提供いたします。
3. 救急医療、災害救護活動、国際救援活動を行います。
4. 内外の医療従事者の育成に努めます。
5. わたしたちは、日々研修・研鑽し、明るく活力のある職場づくりに努めます。

神戸赤十字病院「患者の権利に関する宣言」

神戸赤十字病院は、医療の中心は患者さまであり、医療行為が患者さまと医療関係者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに、「患者の権利に関する宣言」を制定いたします。

当院の全職員は、この「患者の権利に関する宣言」を守り、患者さまの医療に対する主体的な参加を支援してまいります。

1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 病気、検査、治療、見通しなどについて、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受け、納得したうえで、検査や治疗方法などを自分の意思で選ぶ権利があります。
5. 自分が受けている診断や治療について、他の医師の意見を求める権利があります。（セカンドオピニオン）
6. 自分が受けている医療を知るために、診療記録の開示を求める権利があります。
7. 研究途上にある医療に関して、目的や危険性などについて十分な情報提供を受けたうえで、それを受けたうえで、それを受けるかどうか決める権利と、何らの不利益を受けることなくいつでも中止を求める権利があります。
8. 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

突然発症し生命に関わる病気はいくつもありますが、急性心筋梗塞・急性大動脈解離はその代表といえるでしょう。11月1日のセミナーでは、この2つの疾患を扱いました。黒田循環器科部長と築部心臓血管外科部長との講演が予定されていましたが、折悪しく（あるいは）絶好のタイミングで大動脈解離の緊急手術があり、心筋梗塞の話題に偏ってしまいました。胸痛・背部痛を生じる病気は数多くありますが、症状のみでの診断は難しいです。時間との勝負なので、症状が持続するときにはとりあえず病院を受診して検査をうけて下さい。

当院では兵庫県災害医療センターと一緒に、急性期の循環器科診療に力を入れています。今後も地域の方々のお役にたてるように努力致します。



第13回HAT健康セミナー報告 「胸部・背部痛について」

ホームページをリニューアルしました！

トピックス&ニュース

このたび、当院のホームページをリニューアルいたしました。

トップページからお知りになりたい情報がすぐに検索できるようになります。工夫を図りました。

内容もさらに充実し、各診療科の特色や症例数、及び手術や診療実績等のほか、医師の専門分野等の紹介も掲載しています。その他、外来や入院のご案内、地域住民の皆様や医療従事者向けの研修会のご案内、各部署の紹介なども公開しています。なるべく写真を多く使い、より見やすく、よりわかりやすくなつたと自負しています。

今後も、皆様に満足していただける情報発信源となるように更新して参りたいと思います。何かお気づきの点やご意見がございましたら、ぜひお聞かせ下さい。

アドレス：<http://www.kobe.jrc.or.jp>
“神戸赤十字病院”や“神戸日赤”で検索していただいても出てきます。